

特集 『2005 木製サッシフォーラム』 に寄せて

平成17年2月10日（木），13：30～17：00，旭川市大雪クリスタルホールを会場にして，「2005 木製サッシフォーラム」を開催しました。

木製サッシフォーラムは北海道立林産試験場と北海道木製窓協会との共催により1996年から毎年開催しており，これまで住宅分野における窓からの自然エネルギー利用やバリアフリーなど多岐にわたる情報を提供してきました。節目となる10回目を迎えた今回は，「木製サッシを新たな視点で見直す」をテーマとし，設計士の視点から見た木製サッシへの提言，最近注目されている防犯やその他の新技術について紹介し，参加者との意見交換を通じてこれまでのフォーラムを総括し，今までとは違う角度から木製サッシを見つめ直す場としました。

今回の木製サッシフォーラムは（社）建築士会継続能力開発（CPD）認定プログラムとして登録されたこともあり，参加者は140名を超え，それぞれ講演に真剣に耳を傾けていました。また，講演後の意見交換会では，防犯に関するものから木材との接し方まで，多岐にわたる議論が行われました。

本特集では，当日の講演内容と意見交換会の様子を掲載します。少しでも多くの方に木製サッシについてご理解を深めていただければ幸いです。



受付の様子



会場内の様子